

採点基準 英語

全体の基準

- *原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみとする。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**。但し、文字の大小の誤り、句読点・コンマ・ピリオドに関する誤り、iやjのドットの欠如は、原則不問とする。

和訳問題（第1問・第2問）の基準

- *以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1語につき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語 （限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞）	-1	-1
内容語 （名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞）	-1	-2
機能語 （従属接続詞・前置詞）	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1語につき**マイナス3点**を原則とする。

英作文問題（第2問・第3問）の基準

- *小問ごとに別記の基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、SOVの語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1語につき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表			
大問	配点合計	小問等	配点
1	50	(1)	12
		(2)	8
		(3)	20
		(4)	10
2	75	(1)	15
		(2)	10
		(3)	25
		(4)	25
3	25	—	25
大問計	150	小問計	150

第1問(2) 配点 8

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①students were socialized into car use by their parents	4 点	<ul style="list-style-type: none"> ・学生たちが幼かった頃に親が移動手段として車を使っている ・子供時代に親が車を使っている ・親が移動に車を使うのを見て
②this early buildup of habitual behavior then took over.	4 点	<ul style="list-style-type: none"> ・彼らもまた車を使うようになるということ ・彼らも大きくなって車を使うようになったということ ・その子供たちが成長して車に乗るようになった

第1問(3) 配点 20

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

部分①: The problem with habitual travel choices, though, is that the more ingrained they become, the less likely they are to be consciously reevaluated. 【6点】		
要素	配点	各要素の正解例
The problem with habitual travel choices, though, is that	2 点	しかし, 習慣的な交通手段の選択に関する問題は~ということである
the more ingrained they become,	2 点	それらが深く染み込めば染み込むほど
the less likely they are to be consciously reevaluated	2 点	意識的に再検討される可能性が低くなる
部分②: For example, we might continue to drive to work in the summer, despite the fact that cycling is much cheaper and healthier, because of the habit built up during the winter. 【7点】		
For example,	1 点	例えば
we might continue to drive to work in the summer,	2 点	私たちは夏の間も車で職場に通い続けているのかもしれない
despite the fact that cycling is much cheaper and healthier,	2 点	自転車で行く方がはるかに安くて健康的であるという事実にもかかわらず
because of the habit built up during the winter	2 点	冬の間築かれた習慣のため
部分③: Or, we might automatically plan a new trip by car, because we always use the car, without even considering the available alternatives, like trains or coaches. 【7点】		
Or, we might automatically plan a new	2 点	あるいは, (私たちは)新しい旅行の計画も無意識に車を使ったも

trip by car,		のにするのかもしれない
because we always use the car,	2点	いつも車を使っているので
without even considering the available alternatives, like trains or coaches.	3点	電車や長距離バスのような利用可能な代替手段を考えることさえしないで

第1問(4) 配点 10

【基準・配点】

(1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。

(2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①any method that's used needs to take into account the fact that ~	3点	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段の選択を変えさせるにあたっては~ことを考慮しないといけない ・交通手段を変えさせようとしたら, ~ことを考えておくべきである ・「交通手段の選択は, ~ことを頭に入れておく必要がある
②while travel choices may originally have been made for rational reasons	3点	<ul style="list-style-type: none"> ・元々それにきちんとした理由があったとしても ・「本来はそこに合理的な理由があったのかもしれないが ・初めは合理的な理由で決められていたのかもしれないが
③once they become automatic and so unconscious	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・それが習慣化され, 無意識化されることで ・いったんそれらが習慣になり, 無意識で行われるようになったら ・いったん習慣化して無意識で行われるようになれば
④rationality goes out the window	2点	<ul style="list-style-type: none"> ・合理性が完全になくなっている ・道理が消えてしまっている ・理屈[由]なんてどこかに行ってしまう

第2問(1) 配点 15

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①For years, there's been a trend to "offshore" manufacturing to emerging markets, where workers are cheaper	8 点	<ul style="list-style-type: none"> ・かつては生産拠点を労働力の安い海外に移転してきたが ・長年にわたって労働者が安い新興国に生産を移してきたが ・何年もの間、製造を労働力の安価な新興市場にシフトさせる傾向があったが
②now, the trend is to "reshore," bringing it back again,	5 点	<ul style="list-style-type: none"> ・現在ではそれを国内に再移転するようになっており ・今やそれを再び戻して国内へ再移転する傾向があり ・今それを自国内に戻すようになっていて
③robots are part of that.	2 点	<ul style="list-style-type: none"> ・それはより安価な労働力としてのロボットが一因である ・それにはロボットが一役買っている ・それはロボットが普及してきたことが原因である

第2問(2) 配点 10

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

部分①: Twenty years is "a sweet spot for prophets of radical change," he writes: 【3点】		
要素	配点	各要素の正解例
Twenty years is "a sweet spot for prophets of radical change"	2 点	twenty years=20 年／二十年間 sweet spot for ~~=~にとって最適な期間／~にちょうどよい時期／~にとって絶妙なタイミング prophet=予言者／予測者／予想家 radical=根本的な／抜本的な／重大な／重要な change=変化／変更／変遷／移り変わり
~, he writes:	1 点	~, he writes=~と彼は書いている／~と彼は記している (he writes):=つまり／すなわち／それは~だから／—(ダッシュ)
部分②: nearer, and you'd expect to be seeing prototypes by now; 【4点】		
nearer, and~	2 点	nearer, and ~=(20 年よりも)近すぎると~/短いと
you'd expect to be seeing prototypes by now;	2 点	you'd expect to be seeing~=~が見られると期待するだろう／人々は~を見ることを期待するだろう prototype=試作品／プロトタイプ／見本 by now=そろそろ／もうすぐに

部分③: further away, and it's not so attention-grabbing. 【3点】

further away, and ~	2点	further away, and ~ = もっと先ならば~ / もっと離れていると~ / もっと遠いと~
it's not so attention-grabbing	1点	it's no so ~ = (それは)あまり~でない attention-grabbing = 注目を集める / 注目度の高い / 注目される

第2問(3) 配点 25

1. 語数・英語の正しさ

1. 語数

80~130語に収まっていないものは0点。(「語数不足・語数超過」と付記)

* 明らかに過不足がありそうなもののみ語数カウントして確認して下さい。

* 1, 2語の語数違反は見逃して下さい。

* ある程度の量(目安5, 6行以上)書かれているものは、語数不足・語数超過で0点になる場合も、文法等の減点を示して下さい。

2. 語数

1) 句点やピリオドの欠落, iの点やtの棒の脱落は減点しない。

2) 英語として多少不自然でも、意図が伝わるように表現できていれば広く認め、単語のニュアンスが多少ずれているといったものも減点しない(点線で指摘のみ)。中学レベルで学習する基本語の明らかな誤りや、基本的な文法面を中心に減点する。

3) 大文字・小文字は不問(誤りでも指摘だけで減点しない)。

短縮形の使用はすべて認める。

軽微なスペルミスは1点減点。

冠詞・単複・動詞の語形の誤り、語句の誤りなどすべて1箇所につき2点減点。

(減点箇所の下線, 訳抜け箇所に^v△をつけ、減点数を付記する)

4) 同じ名詞における同一の冠詞の誤りと、同じ語の同一のスペルの誤りは、それぞれ1回だけの減点とする。(違う語ならすべて減点)。それ以外は、同じ誤りでもすべて減点(減点が満点を超えても誤りは下線)。

5) 冠詞の誤りについて

可算名詞が無冠詞・単数になっている場合は減点するが、それ以外は原則不問とする。

a と the の使い分けの不自然さや、抽象名詞ともとれる名詞が無冠詞でも減点しない(指摘はしてもよい)。

2. 内容面

1. 以下の設問指示を無視しているものは、英語の誤りとは別にそれぞれ該当の点数を減ずる。

A. 【指示違反】

- ・「特化型人工知能」のうち、本文で言及されている「アルファ Go(囲碁アプリ)」「スパムメール撃退アプリ」「IBMのWatson」について論じているもの(-30点)
- ・そもそも「特化型人工知能」の説明になっていないもの(-30点)
- ・それが何をするものが説明されていないもの(-10点)
- ・あなた(または人々)がどのようにそれを使っているかが説明されていないもの(-10点)

B. 【文章構成不適切】 - 10点

文章構成の不適切なもの

・書き出しで、それがどのような「特化型人工知能」なのかを述べていないもの。

※通常の英語の論述展開（意見→根拠）から大きく逸脱しているもの。

2. 文法・語法の誤りとは別次元で、英文としての前後のつながりがなく、内容的に何を言っているのか伝わらない箇所／論理不整合がある場合は、その範囲を【理由として不適切】【内容不明】【論理不整合】などとして、適宜－4点とする。

第2問(4) 配点 25

部分①: And more prestigious jobs are far from safe. 【5点】		
要素	配点	各要素の正解例
And more prestigious jobs are ~	3点	And=そして／さらに more prestigious jobs=もっと権威のある仕事でも／もっと名誉ある職でも／もっと一流の仕事であっても
far from safe	2点	far from ~ =決して～ではない／全く～ではない／～とは言い難い safe=安全(な)／安泰(である)／無事(だ)
部分②: IBM's Watson, which hit the headlines for beating human champions on Jeopardy!, is already better than doctors at diagnosing lung cancer. 【10点】		
IBM's Watson ... is already better than doctors at diagnosing lung cancer.	5点	IBM's Watson=IBMのワトソン／IBMのWatson already=すでに／もう／とっくに is better than doctors at ~ = ~ に関しては医者より優れている ／～において医師よりも上手だ／～が医師よりも得意だ diagnose=診断する／～の原因を究明する lung=肺 cancer=がん／癌／ガン／(悪性)腫瘍
, which hit the headlines for beating human champions on Jeopardy!,	5点	which hit ~ = ~ されたが／～した(IBMのワトソン) hit the headlines for ~ = ~ したことで大きく報道される／～のせいで大見出しになる／～が新聞ネタになる beat = ~ を破る／～を打ち負かす／～をやっつける／～に勝つ human = 人間の／人の champion = チャンピオン／(優)勝者／選手権保持者 on Jeopardy! = 『ジェパディ!』(という番組)で[に出る]
部分③: Software is getting to be as good as experienced lawyers at predicting what lines of argument are most likely to win a case. 【10点】		
Software is getting to be as good as experienced lawyers at ~	5点	software = ソフトウェア／ソフト／PC用プログラム is getting to be ~ = ~ になりつつある／～になってきている as good as ... at ~ = ~ において...と同程度の優秀さだ／～に関して...と同程度に優れている／～に関して...も同然だ experienced = 経験豊富な／経験のある／熟練した lawyer = 弁護士／法律家
what lines of argument are most likely to win a case	5点	what lines of argument = どのような論法／どのような議論の筋道 ／どんな討議の方針 are most likely to ~ = 最も～する可能性が高い／最も～しそうな／～する可能性が一番高い win = 勝つ／勝利する case = 訴訟／裁判(事件)

第3問 配点 25

部分①: インタビューの最大の目的は相手に彼ら自身のことを尋ねることである。【5 点】		
要素	配点	各要素の正解例
インタビュー	1 点	「インタビュー」=an interview/interviewing (someone)/doing interviews/having an interview (with someone)
～の最大の目的	2 点	「最大の」=main/major/biggest 「目的」=purpose/objective
相手に彼ら自身のことを尋ねることである	2 点	「相手」=people/the interviewee/the other person/someone 「彼ら自身のことを尋ねる」=ask ~about themselves/ask ~ about him/herself
部分②: これにはある物事について彼らがどう感じ、考えるのかについて質問することも含まれる。【5 点】		
これには～も含まれる	2 点	「これには～も含まれる」=This includes [contains, covers, involves, consists of] ~/(前文の内容を受ける関係代名詞を用いて), which includes [contains, covers, involves, consists of] ~
ある物事について	1 点	「ある物事」=certain things [subjects, topics, issues, matters]/something 「～について」=about/on/as to/such as
彼らがどう感じ、考えるのかについて質問すること	2 点	「彼らがどう感じ、考えるのか」= how they feel or think/how they feel or what they think/about their feelings and thoughts 「～について質問すること」= asking questions about ~
部分③しかし、質問をして答えてもらうことだけがインタビューではない。【5 点】		
しかし	1 点	「しかし」= However, .../~, however, .../But ...
質問をして答えてもらうこと	2 点	「質問をして」=asking questions/asking a question 「答えてもらうこと」= getting answers/getting them [it] answered/getting them to answer (back)
～だけがインタビューではない	2 点	「～だけがインタビューではない」= Interviewing is more than just ~/There is more to it [interviewing] than just ~/Just ~ is not an interview. /Only ~ is not what an interview is all about.
部分④: 実際、優れたインタビュアーともなると、相手に本人が自分で気づいていないことを言わせてしまうことがある。【6 点】		
実際、	1 点	「実際」=In fact/As a matter of fact/Actually/In reality
優れたインタビュアーともなると、	1 点	「優れたインタビュアー」= a good [great, superb terrific, wonderful] interviewer / an excellent [amazing, awesome] interviewer /If he/she is a good interviewer, he/she can ...
相手に～を言わせてしまうことがある	2 点	「相手に～を言わせてしまう」= let the other person say ~ / help the interviewees reveal ~ 「～ことがある」=can ~/sometimes [often, occasionally] ~

本人が自分で気づいていないこと	2点	「本人が気づいていないこと」=what he/she doesn't notice / things they don't realize 「自分で」= on their own / themselves
部分⑤:これこそまさにインタビューの醍醐味である。【4点】		
これこそまさに～	1点	「これこそまさに～」= This is exactly [just, precisely]～
インタビューの醍醐味	3点	「インタビュー」=an interview / interviewing (someone) / doing interviews / having an interview (with someone) 「～の醍醐味」=the best part of ～ / the real pleasure [enjoyment] of ～ / what ～ is all about